



2012年9月号 農山村ネットだより

私たちの子や孫が住み続けたいと思う 帰りたいと思うそのような「山里」にしたい。訪れる人がまた来てみたいと思う 住んでみたいと思うそのような「山里」にしたい。そのような「山里」の山・川・里で自然にふれ山仕事をして野良仕事をして人と交わることが幸せだと思う。そんな輪（ネットワーク）を広げたい。

「とよた都市農山村交流ネットワーク」は、豊田市の農山村地域で「交流」というキーワードで地域の活性化をはかる活動をしている様々な個人や団体のゆるやかな集まりです。

9月のPICK UP!!

五ヶ丘小学校 セカンドスクール直前! マムシ・ハチ・かぶれの木など野外活動で危険なものを始めに確認しましょう

子どもたちや都会で暮らす人は知りません

夏から秋、草におおわれているところへ突然、足や手を突っ込む、無防備に体を入れる。「それは危険だ」田畑や山仕事を経験している人はそう思うでしょう? マムシが潜んでいたり、ハチの巣があるかもしれないといつも意識しているからです。農家の方でもすでに身をもって「体験」された方もいらっしゃるのではありませんか???

でも、子どもたちや都会暮らしで自然と接する経験が浅い人は、まったく危険について意識していません。私たち農山村で暮らしたり自然と意識して接したりしている人の常識は全ての人の常識にはなっていません。

体験実習の最初に、きちんと、どんな危険があるかを知らせておくことが大切です。

(文: 山本薫久)

五ヶ丘小学校4年5年生担任の先生が「農家回り」

8月21日は5年生担任の先生、8月22日は4年生担任の先生が9月26日からのセカンドスクール(3日間)のホームステイ先の農家や施設の下見とあいさつ、情報交換に回りました。農山村ネットワークから山本も同行しました。

下山地域会の新実さんが先導し下山地域7箇所、旭地域会の鈴木さんが先導し旭地域3箇所、小原地域は2箇所、足助地域は3箇所、ホームステイ先や利用する施設などを回りました。

先生方は「温かく受入をされる農家さん、ありがたいと思いました。」と感動されていました。子どもたちの成長を願ってがんばる農家の方々の真摯な姿に頭が下がりました。ありがとうございました。(山本)

セカンドスクール夏休みフリー版 大成功!

下山地域会では8月6日・7日の1泊2日で25人。稲武地域会では8月7日・8日・9日の2泊3日で12人。旭地域会では8月18日・19日の1泊2日で4人。足助地域会では8月27日・28日の1泊2日で10人。元気な子どもたちの歓声が農山村の集落・山・川で響きました。農山村ネット初の試みでしたが、地域会の幹事さんを先頭に奮闘、貴重な成果を得ました。ごくろうさまでした。アンケートなどの収集と整理をすすめています。(山本)

地域会からの便利なコーナー

旭、足助、稲武、小原、下山の各地域会から活動の様子や企画のお知らせをお送りします。

夏休みフリー版セカンドスクール無事成功！？

文：山里 Cyafe 仁熊信子



稲武
地域会

8月7日(火)～9日(木)の2泊3日で行われた「山の子どもになる！3日間」。最初は参加者の申し込みがなく、どうなることかと思いましたが、豊田市内のいろんな小学校の4年生から6年生の12名が参加してくれました。1日目はアマゴつかみに水遊び、つかまえた魚とトウモロコシ、五平餅を炭火で焼いてお昼ごはん。中馬街道を少し歩いて、石窯でのピザ作りと盛り沢山。その後はホテル岡田屋に全員で泊まりました。翌日は3軒の農家(うち1軒は大野瀬町の梨野という9軒の集落全体での受け入れです)にわかれ、それぞれで川遊びや野菜の収穫などなど。鶏の解体をやったおうちもありました。子どもたちはみんな元気いっぱい、稲武の自然と人々の優しさを満喫したようです。「また来年も案内送ってね」「来年は中学生だから梨野の集会所に勝手に(?)来るから！」など、うれしいことをいって帰って行きました！

下山
地域会

学びのあったセカンドスクールフリー版

文：手づくり工房 山遊里 店長 新実一俊

初めての試みとして1泊2日のセカンドスクールを平針スイミングスクールの子供達と楽しみました。「おはよう」のあいさつの後、まずは山遊里にて手づくりソーセージに挑戦。小学校低学年の子が多く、スタッフもかかりきりでしたが無事終了しました。早速ホットドッグにして昼食に。残りはお父さん・お母さんへのお土産かな？

午後からはブルーベリーの里パーク周辺で自然観察を行いました。雨が降り始め、川の濁りやカミナリなどの悪天候で、ニジマスのつかみ取りが行えるか心配でしたが、子供達は大はしゃぎで無事終了することができました。

2日目は朝から高田さんと古代米のお餅つきをしました。つけた先からみんな食べる食べる。すぐに完食しました。その後、あんころ餅を作って、またお土産にしました。

今回初めての試みということで、課題も残りました。この時期によくある天気急変(カミナリゴロゴロ、雨ザーザー)、また、事前の打ち合わせ等の無いこの企画。衛生面にももっと配慮したほうがいいのかもしれませんが。勉強になりました。



農家の暮らしを体験

文；西村自然農園 西村文字

小原
地域会

8月4日にネットワーク事業の山里学校が西村農園で行われました。たくさんの方に参加していただき夏野菜の収穫からはじめ、カレー、サラダ、エゴマのぎょうざ、花いっぱい生春巻きなどをみんなで作りました。小さい子どもさんが多かったのですが、皆、意欲満々でどんどんお手伝いしてくれました。お家だと台所も狭いし、お母さんもゆとりがないので、中々、ごはん作りのお手伝いをさせてあげられないけれど、こういう場があると安心して包丁を持たせる事もでき、ゆっくり学べて、その上とても楽しいのがうれしいと喜んでいただきました。

単なる農家レストランではなく、耕し、収穫し、調理し、共に食べ、かたづけ、憩う、という農家の暮らしを経験する事は、今の時代、とても大切で価値のある事だと改めて思いました。最近、小原へ引っ越してきた若いご夫婦さんたちにも声をかけて、農家民泊やセカンドスクールの受け皿を広げてゆきたいです。



旭
地域会

ワールドキャンパス 農山村体験

文：鈴木正晴

8月28日（火）日本の文化を学ぼうと太田町に15名の外国人がやってきました。豊田に5泊6日の滞在で、その内の2日間、農山村体験で太田町を訪れました。オランダ、ノルウェー、ベルギー、アメリカ、メキシコ、中国などの20代を中心とした若者です。迎えたのは、東京に本部を置くNPO法人「ワールドキャンパス」、オープンハート（豊田市受入家庭の窓口となるボランティア団体）、ホームステイホストファミリー、M-easy、太田町活性化集団「わくわく鋤鋤農業体験」、とよた都市農山村交流ネットワーク、おむすび通貨、T I Aなどの面々。10時から伊藤美寿代さん指導による「もんぺ作り」、地元男性による流しソーメンの準備・竹の器・箸作り。見よう見まねで、一生懸命に取り組み、やがて、のめり込んでいました。午後から、山本薫久さんと太田町の田んぼに別れて「田んぼ体験」。太田町では水切り作業。なれない手つきで、周りに溝を切り、水が音をたてて流れると、歓声が上がりました。英語と日本語が飛び交う雰囲気の中、楽しみながら活動ができました。夜は区民館で交流会。地元の人たちも、手料理一品を持ってたくさん参加、約60名の大交流会。完成したこだわりのもんぺの披露もあり、パンタロン風にしたい、股上は浅くなど、それぞれが紹介すると、惜しみない拍手が送られ、うれしそうな姿が今も忘れられません。日本に関心があるだけに、日本語が話せる若者もたくさんいて、すごいなと思います。いろんな国の人たちと話すことで、文化の違いもちょっぴり味わうことができました。宿泊は、太田区民館と板取の家の2カ所です。ぐっすり眠れたかな。良い体験となったかな。そして楽しい交流ができたでしょうか。来年もきてくれるといいなと思う、楽しい2日間でした。

土の子ネイチャーランド

文：鈴木智

足助
地域会



8月27日～28日足助地域会1泊2日のセカンドスクール(オプション)10名の子供達が参加しました、1日目は魚釣り、(釣果6匹)と川遊びを体験しました。夕方からはバーベキューで親睦を深めました。夜は夜景観賞、星の観測をしましたが国際宇宙ステーションも観測が出来感動でした。2日目は草木染と昼食に五平餅作り体験とパーティです。2日間の皆さん楽しそうでした。



山里学校「太陽の恵みをいただく」講座

最初に、西村さん手作りのやまももジュースとパン、梅ジャムをいただきながら、きょう1日の流れの説明を聞きます。そのあと、強い日差しが照りつけるなかみんなで畑へ。澄み切った青空の下、西村さんのきびきびした声がひびきます。そんな西村さんに引っ張られるかのように、こどもたちは夢中で野菜の収穫のお手伝いをしていました。

そのあと、収穫したお野菜をつかって、夏野菜たっぷりのカレーやサラダ、生春巻きを作ります。ここでも子どもたちは、みんな進んでお手伝い。そして…1時間ほどで、すべての料理が完成！太陽の恵みがたくさん詰まったお野菜で、じぶんの手で作ったお料理に、子どもたちもお母さんも満足そう。みんな残さずもりもりと食べていました。

午後はシソジュースづくり。こどもたちが子ども同士で面倒をみるなか、おかあさんたちが熱心にメモをしながら、ジュース作りを学んでいました。こどもたちはお手伝いできてとても満足そうだったし、わたしも含めおとなたちは、忙しくても元気と愛情いっぱいの西村さんにパワーをもらった。太陽のエネルギーと西村さんの人柄に、とても元気づけられた1日でした。(雨森)



会員研修会に参加しませんか（参加される方は090-5453-6411山本へ）

- ・先進地視察 10月9日(火) 8:00 杉ん子の里(杉本)集合出発 昼食1000円実費
泰阜村(長野県)の暮らしの学校いだらぼっち、山賊キャンプなど
NPOグリーンウッズ <http://www.greenwood.or.jp/>
- ・発酵食 発酵飲料 2月5日(火)10:00~14:00 西村自然農園

ネットワーク会員募集中

山里から知恵を学び、山里の豊かな自然や文化を次の世代に受け継ぎ、山里での暮らしを大切に生きる。山里でいろいろな交流をしてみたい方、昔ながらの知恵を学ばせてくださる方、花木や昆虫などの物知りさん、体験の受け入れをしてみようと思われている方、お手伝いをしてみたいという都市部の方、どんな方でも参加できます。

皆さんと一緒に楽しみましょう！

年会費500円 ネットだよりを隔月発送します。

編集後記

山里では稲刈り、秋冬野菜の種まきと、夏の余韻から秋の深まりへと向かっています。

ご飯をおかずにご飯が食べられるほどご飯好きですので、これからおいしい新米が食べられると思うと今から楽しみです。皆さんもぜひおいしい水と空気、寒暖さでおいしく育った山里の新米「ミネアサヒ」、「ミネハルカ」をぜひご賞味ください。(戸田)



発行元

とよた都市農山村交流ネットワーク 世話人代表 山本薫久

〒444-2816 豊田市杉本町三斗成1-3 tel&fax 0565-68-1113

mail: nosanson@hm10.aitai.ne.jp HP: <http://www.toyotasanson.net/>

